

米国政府の臨界前核実験に抗議し、 今後の実験計画撤回を求める意見書

米国政府は、去る8月30日に続き、9月27日（日本時間）に、米国ネバダ州の地下核実験場において、通算19回目となる臨界前核実験を実施すると発表しました。

米国の度重なる実験は、世界で唯一の被爆国である我が国民の核兵器廃絶の願いを裏切るばかりか、平和を願う国際世論を無視した暴挙であり、断じて許される行為ではありません。

千代田区議会は、米国政府が実施する全ての核実験に対し、再三にわたり抗議をしてきました。

人類の未来とかけがえのない地球を守り、次代を担う子どもたちのためにも、たとえどのような核実験であろうとも、世界の恒久平和を希求する我々にとって容認できるものではありません。

よって、千代田区議会は区民とともに、米国政府の臨界前核実験に対し強く抗議し、日本政府として、今後いかなる実験計画も撤回するよう毅然たる態度で働きかけることを求めるものです。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

平成14年9月26日

千代田区議会議長

内閣総理大臣宛